

川崎設備工業株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	川崎設備工業株式会社では、持続可能な未来を目指して「今、出来ること」にみんなで取り組んでおります。ゆとりと思いやりのある職場環境を構築し、夢のある会社を目指しております。具体的な取り組みとして、ZEB事業の促進、BIMの積極的導入と施工のIT化、ボランティア清掃活動、エコキャップ活動、ごみの分別活動、グリーン購入法製品の採用、事務所のバリアフリー化、自社ビルに太陽光発電装置の設置、CO2排出量の削減、社用車の全車エコカー化等です。		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 7, 9	<ul style="list-style-type: none"> 省エネルギー機器システムや再生可能エネルギー設備の導入を促進し、電力の削減や環境に配慮した建築物の設計を推進する。 全社的にグリーン購入法製品を推奨し、購買比率の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 2025年までに自社設計案件の50%を高効率な省エネルギー設備を備えた建築物（ZEB事業）に出来るように努める。 グリーン購入法製品（事務用品に限定）の購入比率を70%まで高める。
	社会 5, 8, 10	更衣室やトイレの環境改善、ゆとりと思いやりのある職場作りに取り組み、女性社員の採用拡大と高齢者がやりがいと達成感、意欲を持てる社内風土を醸成する。	2025年度までに女性社員比率を14%まで高め、70歳までの再雇用制度を整備する。女性の社会進出の促進と高齢者が活躍出来る職場環境を構築する。
環境 7, 9, 13	全店のLED照明化、自社ビルの太陽光発電装置の設置、全社有車のエコカー導入、毎月1回のボランティア清掃、ごみの分別、廃棄物管理によるリサイクルの促進、電子化による紙の削減等に全社員で取り組む。	2050年のカーボンニュートラルの達成に向け、その中間目標となる2030年度の当社CO2排出量を、2013年度比50%に削減する。	